

授業科目区分	科目名 [英文名]		単位	N	S	M
専門教育科目	生涯スポーツ論 [Theory of life-long sports]		2			
授業形態	担当教員名		ナンバリング			
講義 アクティブ・ラーニング	福島 邦男		SM-S2069			
この授業に関係する資格						
初級パラスポーツ指導員、スポーツインストラクター、子ども身体運動発達指導士、中高老年期運動指導士						
学位授与方針（ディプロマポリシー）との関連						
○	豊かな人間性（広い視野、深い思考力）		健康づくりの実践的指導能力			
	食、栄養科学の専門的知識	○	健康生活の知識と技術の修得			
	健康管理の指導技術の修得	○	実社会に役立つ能力			
	運動、スポーツ科学の専門的知識	○	社会に貢献できる実践力			
キーワード						
生涯・ライフステージ・ライフサイクル論・生きがい						
授業の目的と概要						
エリクソンのライフサイクル論を参考に各ライフステージにおける発達課題達成のためにスポーツがどのような役割、機能を持っているかを理解する。さらに、人生のそれぞれのライフステージにおいてスポーツが自己実現や健康維持、身体的発達とかかわっていることを学び、健康生活に役立つ知識を身につける。						
学習の到達目標						
生涯スポーツの基本的な意義を理解し、健康生活への応用力となる知識を身につけることで、各自が話し合い活動において、生涯スポーツや生きがいについての意見を述べるができる。						
回	テーマ	授業内容				AL
1	授業概要	用語の定義（生涯 ライフステージ）				
2	ライフサイクル論	エリクソンのライフサイクル論の概要 乳児期～成人後期				
3	乳児期	乳児期における発達課題と運動				○
4	歩行期	幼児・児童の身体発達の特性				
5	幼児後期	幼児・児童の運動指導のポイント				○
6	学童期	運動が苦手な幼児・児童の指導について				○
7	青年期	青年期における発達課題とスポーツについて				
8	成人前期	成人前期における発達課題とスポーツについて				
9	成人中期	成人中期における発達課題とスポーツについて				○
10	成人後期	高齢期におけるスポーツと生きがいについて				
11	スポーツフォーオール	障がい者スポーツ実施上の注意点や意義				
12	スポーツの安全管理	障がいの有無に関わらず、スポーツを安全に行う方法について				
13	ユニバーサルスポーツ	障がい者スポーツの施策とみんなのスポーツについて				
14	スポーツ大会の意義	オリンピックとパラリンピックの課題について				○
15	まとめ	この講義で取り上げた内容のまとめ				
教科書及び参考図書						
参考図書：「生涯スポーツの理論と実際」大修館書店 その他：必要に応じて資料を配付する。						
準備学習・事後学習						
準備学習（週2時間）：この授業のキーワードと毎回のテーマに関する情報を新聞、雑誌、インターネット等から入手し、毎回のミニレポートに生かせるように目を通しておく。 事後学習（週2時間）：毎時間の資料と返却されたミニレポートは保管しておき、事後学習に活用できるようにしておく。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法						
フィードバックとして、ミニレポートへの返信等で前回授業の内容や質問への解説を行う。オフィスアワーでも適宜対応する。						
成績評価の方法・基準						
毎回のミニレポート 70% 課題・提出物 30%						
関連科目						
受講上の注意						